



報道各社 様

富田林市 金剛地区再生室

---

## 金剛地区におけるスマートシティの実現に向けた実証をスタート!

### ～キッチンカー導入、野菜無人販売所の設置から

### ICT 技術に触れる実証プログラム～

---

本市では、金剛地区におけるスマートシティの実現に向け、キッチンカー導入や野菜無人販売所の設置等の実証について、大阪府並びに協力企業と連携して取り組みます。この実証では、キャッシュレス決済やスマホ活用講座など ICT 技術に触れる機会を設けることで、新たなスタイルによる買物利便性の向上や外出による運動・交流機会の増加を図り、金剛地区における新しいコミュニティの形成を目指します。

大阪府と企業、シビックテック、府内 43 市町村等で構成する「大阪スマートシティパートナーズフォーラム」では、市町村が抱える地域・社会課題解に向け、7つの分野において、企業がプロジェクトコーディネーターとなり、実証・実装に向けた取り組みが進められています。

三井住友海上火災保険株式会社(堺支店長:近藤晃弘)は、その中の一つである「高齢者にやさしいまちづくり」のコーディネーター企業として、大阪府内の市町村が抱える「日常の買物支援」や「コミュニティの形成」をはじめとした地区の課題解決に取り組むことから、本市を実証フィールドに、ICT 技術に触れた新しいスタイルのまちづくりについて検証を行います。

この検証は、全国で多くの実績とノウハウを持つ、野菜の無人販売の企業である<sup>ヤサイバー</sup>YACYBER株式会社(代表取締役社長:唐澤太郎)と、キッチンカー等の出店サポートを展開する株式会社<sup>メロウ</sup>Mellow(代表取締役:石澤正芳)の協力を得て、実証プログラムを行うものです。

具体的には、令和3年11月24日から毎週水・木曜日に、∞KON ROOM(金剛連絡所北側)において野菜の無人販売<sup>※1</sup>を開始するとともに、12月14日から毎週火曜日に、金剛団地第2集会所(久野喜台二丁目)においてキッチンカー<sup>※2</sup>の出店による様々な食事を提供します。

また、令和4年1月以降に地区の交流拠点である、わっくcafé(金剛銀座街商店街)において、3回程度のスマホ活用講座の開催を予定しており、ICT 技術に触れる機会を設けることで、新たなスタイルによるコミュニティ形成の検証を行います。

なお、この実証プログラムは、令和4年3月末までを予定しており、アンケート調査等による効果検証を通じて、地域ニーズを把握し、今後の展開について検討を行います。

### ◆金剛地区（高辺台、久野喜台、寺池台）について

金剛地区は、富田林市の中心部から西へ2~3kmに位置し、高度経済成長期に急速な都市化に伴う住宅難等に対応するため、UR都市機構（当時の日本住宅公団）により開発されたニュータウンです。

開発後は、充実した都市基盤と良好な住環境を備え、人口が集積する富田林市の西の玄関口として発展し、市全体の成長・発展を支えてきましたが、開発後半世紀以上が経過した現在、人口減少・少子高齢化・施設の老朽化など様々な問題が顕在化しています。

富田林市では、それらの諸問題を解決するため、地区住民・団体、関係事業者等と連携し、地区の再生・活性化の取組を進めています。

### ※1：野菜の無人販売（YACYBER(株)）の概要



### ※2：キッチンカー（株Mellow）の概要



【問い合わせ】  
〒584-8511 大阪府富田林市常盤町1番1号  
富田林市 産業まちづくり部  
金剛地区再生室 担当 坂口  
TEL:0721(25)1000(内線 459) FAX:0721(24)0269  
Eメール kongo-saisei@city.tondabayashi.lg.jp